

特記仕様書

第1編 共通事項

第1章 工事概要

1.1 工事件名

(仮称) 社会福祉法人 墨田さんさん会就労支援施設 (B型) 新築工事に伴う解体工事

1.2 工事場所

住居表示 東京都墨田区東向島三丁目34番4号
地名地番 東京都墨田区東向島三丁目150番3

1.3 敷地面積

791.96㎡

1.4 工事種目・規模

・ 図書館・倉庫・ボイラー棟解体 (基礎・杭 (新築工事に干渉する部分) ・地下埋設管等)

・ 自転車置き場解体 ・ 石碑の取外し、移送、再設置 (保管、再設置は発注者にて対応)

・ 門扉横のブッシュは、解体工事前に図書館の責任で移転します。(所轄に連絡して下さい。)

・ 外構撤去 (建物周囲コンクリート打設部分、埋設配管、門扉、塀部分)

・ 仮囲い設置工事

・ 建物周囲の整地 (雨水流出対策含む) ※コンクリートガラ及び砕石等は十分に撤去すること。

・ 建物内部の備品関係も含んで処分する事。

・ 工事発注予定表の特記事項等を参照する事。

1.5 工事期間

・ 契約締結日の翌日から平成29年3月30日まで

1.6 備考

・ 現場着手後、工期内については、仮囲いを存置する等の、敷地内管理をすること。

・ 図面と現況に違いがある場合は、現況を優先し工事を進めること。

・ 汚染土壌については、調査済み。別紙添付図参照

・ 提出書類に関しては、必要書類を整え、遅滞なく提出すること。

・

・

・

1.7 提出書類

本工事に伴う提出書類は下記に定めるほか、必要に応じて監督員と協議の上作成するものとする。
<契約後直ちに提出する書類>
工事着工届、現場代理人・主任技術者届 (経歴書共)、工事工程表、施工計画書、工事説明会資料、工事施工体制台帳、
<工事期間中に提出する書類>
工程表 (各週・月間)
<竣工時に提出する書類>
工事完了届、産業廃棄物マニフェスト、近隣家屋調査報告書 (事前・事後)、既存杭位置調査報告書、高低測量報告書、工事写真

1.8 その他

(1) 工事に先立ち住民に対し発注者の指示による工事説明会を行うものとする。これに要する費用は請負者負担とする。

(2) 交通安全対策として工事期間中は、安全誘導員を常駐させ、工事車両の誘導にあたること。(敷地前面道路における通行規制の解除時は、2名以上配置し、工事現場出入口及び周辺道路の交通安全は万全を期すること。)

(3) 法令、条例、規制の遵守及び継続きの代行
本工事に関係のある法令、条例及び規制等は遵守し、竣工引渡しまでの必要な申請手続き連絡は全て請負者が行うものとし、これらに要する費用は請負者の負担とする。

(4) 隣官公署の立会い検査については、請負者は監督員と打合せの上、延滞なくその手続きを経て立会い検査を受け、これに合格すると共に、竣工まで一切を完了しなければならない。これに要する費用は、請負者の負担とする。

(5) 近隣対策及び公防止
工事に伴う振動、騒音、粉塵等については、特に配慮を行い、工事計画及び施工方法を十分に検討し、万一、近隣住民より抗議が生じた場合は、協議の上、速やかに工事請負者の責任において処理すること。
工事中に災害・公害及び近隣住民からの苦情があった場合は、工事請負者が窓口となり、速やかに適切な処置を講じ、その被害、原因、経緯等について発注者に報告すると共に早期に適切な解決を図ること。

(6) 工事中に必要な給水、排水、電灯、電力等については所定の手続きを済み、既引込使用するものとし、これらに要する費用は請負者の負担とする。

(7) 道路隣地等復旧 工事中及び工事完了後の破壊または汚損が生じた場合には、速やかに現況に復するものとし、それに要する費用は、請負者の負担とする。(敷地境界線等については事前に調査すること。)

(8) 高低測量 敷地の高低測量を実施し、報告書 (3部) を提出すること。

第2章 一般事項

2.1 適用範囲

(1) 適用範囲: 本特記仕様書に記載なき事項は「平成29年版 東京都建築工事標準仕様書 (建築工事)」、東京都機械設備工事標準仕様書 (機械設備工事)、東京都電気設備工事標準仕様書 (電気設備工事)」 (平成29年 4月)、により施工する。

(2) この工事は、設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも工事の性質上当然必要なものは、発注者の指示に従い施工する。

(3) この工事は、(1) による仕様書に従い施工するが、明示されていない事項は、「平成24年版 建築物解体工事共通仕様書」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修に準じ施工する。

(4) この工事は墨田区建築物の解体工事等の事前周知に関する指導要綱 (平成18年「17 墨都開第154号」) の適用の対象となる。上記手続きに関する届出等は請負者が行うこと。(墨田区都市計画部開発調整課と綿密に連絡調整をおこなうこと。)

2.2 特許権等の調査について

この工事の特殊な施工方法に関する特許権等については、その有無を事前に十分調査する。

2.3 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置等

(1) 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずべきとして本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

(2) 上記の指名に基づき、労働安全衛生法に規定する次の事項を労働基準監督署長に報告した場合は、速やかにその写しを監督員に提出する。
ア 統括安全衛生責任者
イ 元方安全衛生責任者
ウ 店社安全衛生責任者

2.4 工事の入札等について

入札 (又は見積書の提出) に当たっては、「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」 (昭和22年法律第54号) 等に抵触する行為を行ってはならない。

2.5 ディーゼル自動車の排ガス規制について

東京都はディーゼル自動車 (軽油を燃料とする自動車をいう。) の排ガスを含める粒子状物質の削減を図るため、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 (平成12年東京都条例第215号。以下「本条例」という。) を制定している。工事にあたっては、本条例の主旨を十分に踏まえて施工すること。また、ディーゼル自動車 (乗用車を除く) に関しては、その自動車検査証 (車検証) の写し、粒子状物質減 thiểu 装置 (都が指定した粒子状物質減 thiểu 装置) 装着証明書の写しを監督員が求めた場合、速やかに提出すること。

2.6 過積載の防止

土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法関係法令の定めに従い、過積載の防止及び交通安全の確保に努める。

その他

石綿ばく露防止対策等の実施内容の揭示について

(1) 工事請負者は、工事関係者及び公衆の見やすい場所に、「建築物の解体等の作業を行うに当たっての石綿ばく露防止対策等の実施内容の揭示について」 (平成17年8月2日 基安発 第0802001号 厚生労働省労働基準局安全衛生部長) 及び、「大気環境中への石綿 (アスベスト) 飛散防止対策の徹底と実施内容の揭示について (通知)」 (平成17年8月9日 環管大発 第050809001号 環境省環境管理局長) に基づく揭示を行い、その提示状況の記録写真を監督員に提出すること。
また、提示内容に変更が生じた場合についても、修正後の記録写真を監督員に提出すること。
なお、提示板の大きさについては、600×900mm以上とする。

(2) 工事請負者は、工事関係者及び公衆の見やすい場所に、「解体工事のお知らせ (第1号様式)」又は「石綿 (アスベスト) 除去等作業に関するお知らせ (第2号様式)」の標識を掲示すること。

分別解体

(1) 解体に際しては分別解体等を行うことを原則とする。

(2) 分別解体等に伴って生じた特定建設資材廃棄物については再資源化すること。
(「特定建設資材」とは建設資材のうち、建設工事に係る資材の再資源化に関する法律第18条 (平成12年政令第485号。以下「建設リサイクル法施行令」という。) で定められたものをいう。)

(3) 請負者は解体工事の計画・施工に先立ち、周辺の状況、分別解体等を行うなう場所、廃棄物搬出経路、残存物の有無および石綿等の付着物など事前調査を行うこと。

(4) 請負者は前号の事前調査に基づき、分別解体等の計画を作成すること。

(5) 請負者は前号の分別解体等の計画に従い適正な実施を確保するための措置を講じ、工事を施工すること。

第2編 工種別事項

第1章 総則

第1節 一般事項

1.1.1 工事実績情報の登録

契約金額が500万円以上の工事は、工事実績情報サービス「CORINS」 (コリンズ) に基づく工事実績情報の登録を行う。
登録内容についてあらかじめ監督員の確認を受けた後、次に示す期間内に (財) 日本建設情報総合センター「JACIC」 (ジャシク) に、登録する。また登録後、JACIC の発行する「登録内容確認証」の写しを監督員に提出する。
ただし、期間中は、行政機関の休日に關する法律第一条第一項に定める行政機関の休日は含まない。
ア 工事受注時 契約締結後10日以内
イ 登録内容の変更時 (契約金額のみの変更の場合を除く) 変更契約締結後10日以内
ウ 工事完了時 工事完了後10日以内

【登録先】 〒107-8416 東京都港区赤坂7-10-20 アカサカセブンスアヴェニュービル4F (財) 日本建設情報総合センター CORINS/TECIRISセンター
電話 (03) 3505-0463 FAX (03) 3505-2030
<http://www.et-jacic.or.jp/corins/>

1.1.2 建設副産物の処理

(1) 建設副産物は、次により処理する。
ア リサイクル計画及びリサイクル報告書の作成
(ア) 記載内容及び添付書類
請負者は、工事着手に当たって、リサイクル計画書を作成し、施工計画書に含めて監督員に提出する。また、請負者は、リサイクル実施状況等について必要書類を作成し、リサイクル報告書にとりまとめて監督員に報告する。
なお、リサイクル計画書及びリサイクル報告書の記載内容及び添付書類の適用等については、「東京都建設リサイクルガイドライン」 (東京都) (鳥しよにおける工事の場合は、「東京都建設リサイクルガイドライン (鳥しよ地域版)」 (東京都) とする。以下同様) によるほか、下表による。
(「東京都建設リサイクルガイドライン」 (東京都) は、東京都ホームページ (<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/seisaku/reqy/index.html>) に登録されているので、参照すること。)

添付書類一覧	
リサイクル計画書	リサイクル報告書
①「再生資源利用計画書」 (様式1)	①「再生資源化等報告書」 (様式7)
②「再生資源利用促進計画書」 (様式2)	②「再生資源利用実施書」 (様式1)
③「搬入予定民間受入地場」 (民間受入地へ搬入する場合に限る。 (様式3)	③「再生資源利用促進実施書」 (様式2)
④「建設発生土搬出のお知らせ」 (様式4)	④「リサイクル阻害要因説明書」 (様式8)
⑤収集運搬・処理業者の許可証の写し	⑤「リサイクル状況記録写真」
⑥建設廃棄物処理委託契約書の写し	⑥「民間受入地搬入確認報告書 (リサイクル証明書を含む)」 (民間受入地へ搬出した場合に限る。 (様式9)
⑦運搬ルート図	⑦「搬入完了報告書」 (鳥しよにおける工事の場合) (様式3-2)
⑧使用するマニフェストの様式	
⑨告知書の写し (様式5)	
⑩有害物等チェックシート (様式6)	

書類作成適用工事

書 類 名	適 用 工 事
再生資源利用計画書 (実施書)	以下のいずれかに該当する場合 (工事しゅんぬ功後、1年間保管) ①土砂を搬入する場合 ②砕石を搬入する場合 ③加熱アスファルト混合物を搬入する場合
再生資源利用促進計画書 (実施書) 【建設廃棄物処理計画書 (実施書) を兼ねる】	以下のいずれかに該当する場合 (工事しゅんぬ功後、1年間保管) ①建設発生土を搬出する場合 ②コンクリート塊、アスファルト塊、建設泥土、建設発生木材、建設混合廃棄物を20トン以上搬出する場合 ③金属くず、炭プラスチック、紙くず、アスベスト、その他の廃棄物を各品目について1トン以上搬出する場合
搬入予定民間受入地場、民間受入地搬入確認報告書 (リサイクル証明書を含む)	指定処分 (B) 又は指定処分 (C) により、建設発生土の民間受入地 (土質改良プラントを含む。) に建設発生土を搬入する場合 (請負者は、事前に当該民間受入地が適正な受入地であることを確認すること。)
建設発生土搬出のお知らせ	建設発生土を100m3以上搬出する場合に、搬出に先立つて作成し、売入地の所在する区市町村の建設発生土担当窓口宛に郵送、FAX等で提供する。(工事しゅんぬ功後、1年間保管) なお、搬出先の自治体に建設発生土に関する条例が制定されている場合は、そのために従い必要な手続きを行う。
リサイクル阻害要因説明書	工事途中において、やむを得ず以下のいずれかにおいて行わざるを得ない場合 (工事しゅんぬ功後、1年間保管) ①コンクリート塊、アスファルト塊、建設泥土及び建設混合廃棄物を工事現場から直接最終処分する場合 ②建設発生木材を最終処分場へ直接搬出する。又は焼却のみを行う中間処理施設に搬出する場合 ③土砂等の利用工事において購入材 (新材) を使用する場合 ④砕石の利用工事において新材を使用する場合 ⑤アスファルト混合物の使用工事において新材を使用する場合
告知書の写し、再生資源化等報告書	特定建設資材を用いた建築物等の解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等で、以下のいずれかに該当する場合 ①建築物の解体工事で、床面積の合計が90㎡以上 ②建築物の新築・増築工事で、床面積の合計が500㎡以上 ③建築物の修繕・模様替等の工事で、請負代金の額が1億円以上 ④建築物以外の工作物の工事で、請負代金の額が500万円以上
有害物等チェックシート	建築物の解体工事や修繕・模様替等々の工事の場合

第1章 総則

(イ)「建設副産物情報交換システム」 (以下「COBRIS」 (コブリス) という。) の活用
・ 本工事は「COBRIS」への登録対象工事であり、請負者は工事の実施に当たっては、システムの活用を図るものとする。

(システムに関する問い合わせ先)
〒107-8416 東京都港区赤坂7-10-20 アカサカセブンスアヴェニュービル (財) 日本建設情報総合センター (JACIC) 内
建設副産物情報センター TEL 03-3505-0410 FAX 03-3505-8872
HP <http://www.recycle-jacic.or.jp>
E-mail recycle@jacic.or.jp

請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに「COBRIS」にデータの入力を行い、データ入力の都度「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を監督員に提出して確認を受ける。
また、請負者は、「再生資源利用計画書 (実施書) 及び「再生資源利用促進計画書 (実施書)」の作成、提出に当たっては、「COBRIS」に掲載されている「建設リサイクル統合データベースシステム」 (以下「CREDas」 (クレダス) という。) に必要なデータを入力して作成し、監督員に提出して確認を受ける。
(ウ)「リサイクル状況記録写真」
請負者は以下により撮影し、リサイクル報告書に含めて監督員に提出する。
a 撮影内容
掘込み状況、運搬状況 (工事現場出発時)、産業廃棄物運搬車両表示状況、現場内利用状況、工事開利用状況、ストックヤードの状況、受入地の状況、再資源化施設の利用状況、最終処分場の状況 (直接最終処分する場合に限る。)、現場内での分別状況、再生資源の利用状況等を撮影する。なお、解体工事の場合は、分別解体等の状況、分別された建設資材廃棄物の状況、建設資材廃棄物の運搬状況、再資源化施設への搬入状況等を撮影する。
b 撮影方法
運搬状況 (工事現場出発時) は、掘込み状況、土質、積載物の種類、運搬車両のナンバープレート等を入れて撮影する。現場内利用及び工事開利用状況は、工事箇所が特定できるよう周辺の背景を入れて撮影する。
再資源化施設の状況及び最終処分状況 (直接最終処分する場合に限る。)) は、施設名称や板等を入れて撮影する。

イ マニフェスト等による報告
(ア) マニフェストの提示
請負者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、廃棄物管理表 (以下「マニフェスト」という。) を利用し、適正な運搬、処理を行う。マニフェストのうち、請負者 (排出事業者) が保管すべきものについて、ファイルに整理し、施工中いつでも監督員に提示できるようにする。
なお、電子マニフェストを利用する場合は、(財) 産業廃棄物処理センターから通知された処理結果を排出事業者 (請負者) がプリントアウトしたものの写しを監督員に提示する。
(イ) 集計表の提出
請負者は、産業廃棄物の種類ごとにマニフェストの枚数、廃棄物の数量、運搬日等を記録した集計表を作成し、監督員に提出する。
(ウ) リサイクル伝票の提示
請負者は、建設廃棄物を搬出する場合において、マニフェストを交付する必要のない品目 (再生利用認定制度、個別指定制度等を利用して再利する建設泥土等) については、「リサイクル伝票」 (等しでもよい。) を監督員に提示する。
その様式は、請負者が定めるもの、再資源化業者が定めるもの、再資源化業者が定めるもの等による。
(エ) リサイクル証明書の提示
請負者は、建設廃棄物をセメント等の建設資材の原料として再利用する場合及び高炉還元等を行う場合には、セメント工場等の建設資材製造施設、製鉄所等が発行したリサイクル証明書 (等しでもよい。) を監督員に提示する。

ウ 建設副産物の取扱い
(ア) 建設発生土の取扱い
基礎解体時より発生した除去発生土については、汚染土はありません。
本工事により発生した建設発生土は、「東京都建設リサイクルガイドライン」 (東京都) に基づき掘削量の削減、現場内での再生利用等により、工事現場外への搬出の抑制に努める。
また、搬出する場合は、下記の場所へ搬出し、土砂伝票 (土砂搬入整理券等、発生側の運搬証明)、土砂搬入確認書 (受入側の受入証明) の写し及び集計表を監督員に提出する。
※請負者は、建設発生土の掘込み・搬入に当たっては、コンクリート塊、木くず、金属くず等と分別し、これらの異物が混入しないよう排出・運搬しなければならない。
※請負者は、建設発生土の掘込み・搬入に当たり、現場での分別状況を写真撮影し、工事記録写真帳に含めて発注者に提出しなければならない。ただし、建設発生土の掘削のみの場合など異物が混入するおそれのない場合はこの限りではない。

備 考

有限公司 鳴海建築設計事務所 東京都墨田区両国3-21-8 MKt[®] 1/3階
一級建築士事務所 東京都知事登録 第39356号 一級建築士登録 第156407号 鳴海義一

工事名称
旧 寺島図書館解体撤去工事

図面名称
特記仕様書 - 1

縮尺
N S

図面番号
A-01